



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三条北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会長：金子太一郎

幹事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP:<http://www.sajo-nrc.org>

AD : north@sanjo-nrc.org

本日の行事：「ライラ研修報告会」

- ◆本日の出席：66名中38名
- ◆先々週の出席率：66名中53名 80.30%
(前年同期 87.88%)

- ◆本日のゲスト：ライラ研修生
三条印刷(株) 梨本 大輔君
(株)浅間家具店 浅間 一元君
" 西海土慎也君

- ◆本日のビジター：
三条RC 五十嵐昭一さん
三条東RC小林昭雄さん、遠藤秀和さん
栗山正男さん

- ◆先週のメイクアップ：(敬称略)
10月19日三条RC山崎 勲、石川勝行
20日三条東RC
星野義男、樋口 勤
落合益夫、米山忠俊
22・23日ライラ研修 石黒隆夫
23日野球部練習 岡田大介
小林繁男、西村 護
武田恒夫、石川一昭

* 本日の配布書類等

- ・No.1426・1427 週報
- ・地区大会日程(参加者)
- ・小山田雅人講演会チラシ
- ・JC講演会チラシ

会長挨拶：金子太一郎会長



皆さんこんにちは。先週は、三条4ロータリー合同例会ということで、出席された方、ご苦労様でした。ディナーショーが思ったより良くて、ジャズナンバーが大人の雰囲気醸し出して、ムード満点でした。

とっても良かったと自己満足しております。私自身、2大イベントが終わりホッとしています。

また、会長ノミニーもほぼ決まり、後日発表されますが、良い年末を迎えそうです。

今回は、流通業で注目される「オムニチャンネル」について、話したいと思います。

「オムニチャンネル」とは、ラテン語で『すべて』を意味する『オムニ』と、『販売チャンネル』の『チャンネル』を組み合わせた言葉。すなわち、オンラインショップや実店舗などのあらゆる販売チャンネルから、ほしい商品が、いつでも買えるようになる画期的な仕組みです。

“オムニチャンネル”が実現すると、例えばオンラインショップで購入した商品を近所のコンビニエンスストアで受け取ることはもちろん、特定の百貨店やスーパーにしか売っていない商品を注文して、提携先のコンビニエンスストアや自宅に届けてもらうといったことも可能となります。離れた場所にある百貨店やスーパーにわざわざ出向かなくて済むようになるし、コンビニエンスストアに行くだけで、コンビニには売っていないさまざまな商品も「お買い物」ができるようになるわけです。

もちろん、ネットで注文してそのまま自宅に届けてもらうという一般的なネットショッピングも可能。また、出向いた百貨店やスーパーで在庫が切れているときは、その場でネットショップの在庫状況を確認してもらい、最寄りのコンビニや自宅に届けてもらうこともできます。

「高級品は百貨店、日用品はスーパー、ちょっとした買い物なら近所のコンビニといった業態や商圏の垣根は取り払われ、どの店に出向いてもほしい商品が手に入ります。消費者にとっては買い物の利便性が格段に高まり、流通企業にとっても、それぞれのチャンネルにより多くの消費者を招き入れられるというメリットが生まれます。つまり、『買う側』と『売る側』の双方に大きな利益がもたらされる仕組みなのです。

きっかけとなったのは、やはり国内最大手の流通グループであるセブン&アイ・ホールディングスが2015年11月、グループ各社の実店舗とオンラインショップを融合させたオムニチャンネルサービス『オムニ7』をスタートしたことでした。グループ傘下に数多くの業態を抱え、流通グループとして国内最大の売上高を誇るセブン&アイがオムニチャンネル戦略を本格始動したことによって、競合する流通グループ各社は、追随するにせよ、独自路線を歩むにせよ、戦略の大きな見直しを迫られることとなります。

より多くの顧客を囲い込むためには、できるだけ多くのチャンネルを提供できることが望ましい。従って、今後はコンビニエンスストアや百貨店、スーパーなどの実店舗に、電子ショッピングモールなどのEコマース企業による資本提携や業務提携が加速し、国内流通市場の再編を促すことも考えられます。「そういった意味でも、“オムニチャンネル”の本格化は、流通業界に大変革を巻き起こす可能性があるといえそうです。

幹事報告：石黒隆夫副幹事



- ・田中ガバナーより ガバナーノミニー決定のお知らせ
2018-19年度ガバナーとして三条RC 川瀬康裕氏が決定致しました。
- ・地区米山奨学委員長より 米山奨学生学友会総会開催のご案内
日時 2016年11月26日(土) 16:00~
会場 ホテルオークラ新潟
- ・地区ロータリー財団委員長より 財団寄付増進のお願い
- ・三条クリーン協議会より 五十嵐川クリーン作戦への参加協力をお願い
日時 11月6日(日)7:00~8:00 場所 五十嵐川両岸
- ・燕三条青年会議所より JC誕生の日特別講演会のご案内
日時 10月30日(日)14:00~ 会場 燕文化会館代ホール
講師 中村貞裕氏「現美新幹線から紐解く燕三条の儲かる仕組みづくり」

三条東RCより社会奉仕事業のお知らせ

小林昭雄会長：日頃は、色々応援頂きありがとうございます。又先週の合同例会は素晴らしい会でした。金子会長以下、皆様のご努力に敬意を表します。

今日は社会奉仕事業のお願いに伺いました。遠藤委員長よりお話しさせていただきます。

遠藤和秀社会奉仕委員長：貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。11月26日(土)中央公民館にて片腕のゴルファー小山田雅人氏の講演会「障害や病気を乗り越えて」2歳の時に右手首から先を失い、障害や病気を乗り越えたプロゴルファーです。なぜプロゴルファーを目指したのか、障害を乗り越えるためになにが力になったのか、というお話しをされる予定です。入場無料、整理券も必要ありませんので、気軽にお出で下さい。宜しく願い致します。



*******ロータリー財団ボックス25日現在累計142,000円*******

早川 瀧雄君 ライラ研修生ご苦労様です。石黒委員長宜しく願い致します。

石川 友意君 BOXに!!



*******米山奨学ボックス25日現在累計264,000円*******

- 中條 耕二君 ライラの研修生ようこそ、三条クラブ五十嵐さん、東クラブの小林会長、遠藤さん、栗山さん、皆さんようこそおいで下さいました。米山月間協力です。
- 澗岡 茂君 27、28日ものづくりメッセに出展します。27日は1日中メーカーと共に説明に頑張ってます。ご来場下さい。
- 浅間 一洋君 うれしいやら、はずかしいやら、今日はよろしくお願ひします。
- 米山 忠俊君 ライラ研修生の皆様、報告会ご苦労様です。皆様の更なる成長発展を念じております。
- 福岡 信行君 ライラ研修生の皆さんの報告を楽しみにしています。



*******ニコニコボックス25日現在累計310,000円*******

- 小林昭雄君（三条東RC）先週は素晴らしい4RC合同例会、ありがとうございました。
- 遠藤和秀君（三条東RC）きょうは宜しくお願ひします。
- 五十嵐昭一君（三条RC）久しぶりのメイクアップです。
- 金子太一郎君 ライラ報告よろしくお願ひします。
- 渋谷 義徳君 浅野一元さん、西海土慎也さん、梨本大輔さん、RYLA報告、ありがとうございました。
- 森 宏君 一昨日、成田空港の近くで高校の同級生とゴルフ。またまた100の壁にはねかえさせられました。
- 石黒 隆夫君 研修生の皆さん先日は大変お疲れ様でした。本日もよろしくお願ひします。
- 笹原 壯玄君 暦の上では霜降の季節で朝晩寒さを感じる折、気を付けてご活躍を！
- 西村 護君 ボックスに協力！
- 石川 一昭君 //
- 岡田 大介君 //
- 土田百合子君 先月の葛西選手講演会の前日と当日には皆さん、ドルチェとおばんざい花福にご来店ありがとうございました。感謝して



***9月のコメント賞は岡田 健会員です。**

本日の行事：「ライラ研修報告会」10月22日・23日 於：学生総合プラザSTEP



ライラ研修会を終えて

浅間 一元様

10月22日、23日と行われたライラ研修会の報告に先立ちまして、まずは本研修をご紹介いただいたこと、心

からお礼申し上げます。研修会の報告ですが、構成といたしまして、活動内容、学んだこと、今後の課題の三点とさせていただきます。

研修会は大きく分けて、4つのアクティビティで構成されていました。水球元日本代表の青柳欽様の基調講演に始まり、新潟を代表するリーダーとのパネルディスカッション。親睦を深めるための懇親会、二日目の研修成果発表という流れでした。青柳様の講演では、水球を用いたまちづくりについてお話いただきました。中でも印象的だったのは、産学官民という産業、

学校、市政、市民の連携をとるという話でした。水球選手を育て、オリンピックに出場することで、それぞれにフィードバックをもたらし、まち全体を発展させていくという構造を学ぶことができました。パネルディスカッションでは、新潟を代表する様々なジャンルのリーダーから貴重なお話をいただきました。幅広いジャンルのディスカッションを通して、様々なリーダー像を考えることができました。懇親会では、多くの人と話し、友人もできました。また、ローターアクトクラブの方々とも議論をすることができ、私と同じ世代の方々がこのような素晴らしい活動を行っていることに刺激を受けました。そして、二日目の研修成果報告会では、「私たちが思い描くリーダー像」というテーマで、各チームごとにオリジナリティーのある発表をされました。

以上のアクティビティを通して、私が学んだことは“リーダー”とは状況に応じて存在の仕

方が異なるということです。リーダーという言葉は元々英語の lead(導く)という言葉から派生しています。では、“導き方”とはどのようなものがあるのでしょうか。一般的にリーダーと聞いて私たちが思い浮かべるのは、統率が取れ、判断力がある人。つまり“カリスマ性”という言葉が当てはまるのではないのでしょうか。大勢の人々と一つの仕事を行う時には統率をとることが必要とされます。しかし、何か新しい商品などを考えるディスカッション、議論の場では、導き手という意味でのリーダーの在り方は、前者とは異なるのではないのでしょうか。この状況でのリーダーとは、そこに参加する人々が意見を言いやすい、場づくりなどが求められるのかもしれない。リーダー像を固定化してしまうということが、一つの落とし穴なのかもしれません。状況を見て“導き方”を変える柔軟性がリーダーには求められるのではないのでしょうか。

私は、大学の事業で国際交流インストラクターという活動に参加しています。これは、国際理解教育の一環として、小学校、中学校、高等学校に行き、生徒のみなさんとワークショップ形式で国際問題について考えるという事業です。四年生という立場もあり、リーダー的ポジションを担うことが多くなってきてきました。ですが、上手いように進んでおらず、日々苦戦中です。そんな中、今回の研修で状況を見て導き方を変えるということを学び、早速実践してみようと思いました。ミーティング管理や、仕事分担という面で統率を取り、グループワークや、ワークショップ作りのミーティングでは、意見を言いやすいフラットな場や空気感を作る。両者のバランスを重視して活動していきたいと思えます。

そして最終的には、誰もがお互いを尊重し、導きあえる場を作りたいと思えます。

最後になりますが、今一度この度の研修会という貴重な機会を与えていただいたことに感謝の意を表し、報告とさせていただきます。



ライラ研修会を終えて

西海土慎也様

初めにライラ研修会という素晴らしい場を準備、運営してくださったロータリークラブ・ライラ委員会・その他関係者の皆様に深く御礼申し上げます。それでは早速研修会のご報告をさせていただきますが、

研修会の細かい内容については浅間さんの報告にありましたので割愛させていただきます。ご報告につきましては2つのパートに分けたいと思います。まず1点目に簡単な自己紹介と私がリーダー研修会に参加させていただく前の理想のリーダーに求められる資質についてお話いたします。2点目では今回の研修会に参加し、私自身が学んだこととそれを今後どのように活かしていくかということをお話ししたいと思います。

私は新潟国際情報大学に通う学生で現在4年生です。情報文化学科という学科で国際関係の分野を学んでおります。これまでにフィリピン・ロシア・アメリカに行き様々な方と出会い、リーダーというものとはどんなものか自分の中で考えておりました。フィリピンには孤児院のボランティア、ロシアは他国の若者とのステークホルダーミーティング、アメリカは語学留学として訪れたので個人的には広い領域の人たちと関わったと考えております。その中で出会った方々は私にとって理想のリーダー像を形成するに当たり大きな影響を与えてくれました。フィリピンへ行くきっかけになった NPO の代表は高校生でピナツボ火山噴火のニュースを見て、現地に行き現在支援している孤児院にお世話になったということでした。その突き抜けた行動力には驚かされました。ここで私はリーダーの資質に行動力という要素を加えました。その次に行ったロシアでは自分と同年代の女の子が3か国語を自由に操っているのを目の当たりにし、英語力すら大して無い自分と比較して自らの努力不足を恥じました。やはり人を導くうえで能力も必要で更にアメリカでも学んだことですがコミュニケーション能力も不可欠であることは疑う余地がないと思えます。そのような私の考えがどう変化したのかということをお話しさせていただきます。

まず研修会の基調講演において元水球日本代表の青柳様から「夢をかなえるため、なすべきこと」ということをお聞きしました。そこではリーダーに必要なことや水球を通じたまちづくりなど様々なことを学びました。その中で自分の持っていたリーダーの資質の1つである行動力というものが含まれており、私自身間違っただけではなかったのだと安堵しました。また、その後のパネルディスカッションではパネラーの方々の意見をお聞きすることでリーダーにも明確な形はなく人それぞれであるということが発見できました。自ら進んでリーダーになる人もリーダーとして周りから支えられる人もいます。

まず研修会の基調講演において元水球日本代表の青柳様から「夢をかなえるため、なすべきこと」ということをお聞きしました。そこではリーダーに必要なことや水球を通じたまちづくりなど様々なことを学びました。その中で自分の持っていたリーダーの資質の1つである行動力というものが含まれており、私自身間違っただけではなかったのだと安堵しました。また、その後のパネルディスカッションではパネラーの方々の意見をお聞きすることでリーダーにも明確な形はなく人それぞれであるということが発見できました。自ら進んでリーダーになる人もリーダーとして周りから支えられる人もいます。

のことでした。私の中で印象に残ったのは質疑応答の場で新潟大学の高橋教授にお聞きした話です。教授はディスカッションの中でリーダーに求めるものを3つ挙げておられました。それは健康であること・存在感のあること・強欲であることでした。私はその話を聞き何故強欲なのかという疑問を持ち、それをぶつけてみました。すると組織の存続に際して安定することも重要であるが、常に新しい領域への可能性も開拓することが必要であるとの意見をいただきました。これは私の中にはなかったアイデアであり一見自己矛盾していますが、それも必要であると思われました。

現在、私は大学で国際交流インストラクターという組織に携わっています。大きな組織ではありませんが、4年生ということで自分自身の立場に悩みを抱えていました。しかし、今回のライラ研修会でその答えにたどり着ける糸口が見えたと思われまます。残り僅かな学生生活ですが、その中で組織に対してできる限り今回学んだことをフィードバックしたいと考えています。今一度ライラ研修会という場を設けてくださった方々に感謝の意を表し、ご報告とさせていただきます。



「RYRA研修を終えて」

梨本大輔様

研修の内容に触れる前にまず、簡単に私の自己紹介からさせていただきます。

現在、三条印刷という会社で営業をさせて頂いています。生まれは三条市で高校まで県内で暮らしていましたが、大学から新潟を離れ、丸10年間を県外で過ごしました。30歳になる手前で一度仕事を辞め、新潟に戻り職業訓練を経て、縁があり今年(H.28)の6月より三条印刷で働かせて頂くことになりました。

そんなわけで少し前に入社して4ヶ月目の私に社長から通達がありました。RYRA研修のパンフレットと一緒にこの研修に参加してくださいとのこと。内容を見てみると若手のリーダーを養成する目的での研修らしい。何故まだまだ新人の私に？と思ってよくよく調べてみると、どうやら参加資格が30歳以下らしく、「なるほど、だから30歳ギリギリの私に白羽の矢が当たったか」と納得。まあ面白そうだしいいかと思うところが半分、考え方を学ぶのは好きなのでワクワクしているのが半分で研修に参加

させて頂きました。

参加者は総勢75名で、緊張している人、リラックスしている人、やる気をギラギラさせている人、妙に慣れている人(ローターアクトクラブの人だと後で分かった)等、皆さんそれぞれの思いを滲ませていました。

「新潟のリーダーに学ぶ」というテーマということで、パネリストは新潟を代表する企業の社長や施設の代表者などの方々ばかりで、今思うとすごい環境だったと思うのですが、その時は会場の雰囲気流されてあまり考えられなかったです。

特に感銘を受けたのは、最初のプログラムの元日本代表水球選手の青柳勸さんの講演でした。「夢を叶えるために、やるべきこと」という題目での講演はそれはすばらしいもので、内容は“どうしても水球でオリンピックに出たい青柳さんがどうやってそれを成し遂げたか”というものでした。水球選手ということで体育会系のお話になるのかなと思って聞き始めたのですが、話が始めるとまったく正反対で、どういう考えでどんな行動を取ってきたかが理論的で分かりやすく纏められていてとても理解しやすいお話でした。

要はチームが強くなるとマイナースポーツを競技として継続する環境が整わないという常識の中、いかにチームが強くなる前に競技環境を整えるか？という事でした。そこで青柳さんは「水球で町興しをする」を中心に、大学・企業・民間・政府の全体に対してメリットを出すことで水球を活性化させていくというアイデアを実行していく訳です。そして競技人口が増える→町が活性化する→企業が参画してくる→競技環境が整う→チームが強くなる→競技人口が増える...というサイクルが回りだしチーム発足から6年でオリンピックに出場を果たす事ができました。

そのエピソードを以下の様に纏めています。夢をかなえるために必要なことは、1.仲間を見つける、2.問題を共有する、3.想像力・継続力・判断力、である。

今回の研修では“リーダーシップとは？”ということが多面的に分析することで、リーダーにも様々な人がいて多様な資質があり、その人や場に適したリーダーシップを取って行くことが大事なのだということを知ることができました。しかし、多くのリーダーに共通することとして感じたことは、「意志が強い」ということと「人に信頼されている」ということでした。

この研修で学んだことを知識で終わらずに、

こうありたいという「意志」を強く持つことで行動に落とし、人のために行動することができ周りから「信頼」される人間になれる様に、仕事やプライベートの中で実践していきたいと思えます。



石黒隆夫ライラ委員長

初めての委員長で、私も研修生の皆さんと同じ気持ちで研修に参加してきました。

終わってからの印象はいいのですが、RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

ロータリー青少年指導者要請プログラムという固い名称です。

例年は、ウォーキング等体を動かしたりする、楽しい事もあったようですが、今年は合宿という感じでした。

会場の学生総合プラザはホテルだったそうで、結婚式も出来る様なりっぱな建物でした。

部屋は、ツイン、和室、ジュニアスイートというように様々な部屋に割り振られ、私は高田東RCの初めて会う方とツインの部屋でした。

研修生が 75 名ロータリアンを含め 137 名でした。先月の葛西選手、先週の市岡さん、今回の青柳さんと講演が続き、頭の中で整理が付かない状況ですが、葛西氏は現役選手

として話をされ、青柳氏（水球元日本代表）は現役を退いた後の話でビジネスにも繋がり、町おこしをされているという様なお話しでした。マーケティングだけでは限界がある。ニーズを拾っていても、それ以上の発想をしないと難しい。ソニーの実例をあげて話をされました。携帯が流行った頃ユーザーにどんな機能がいかとアンケートをとったら 70%以上が音楽を聞きたいということだったので、作ったのですが、全く売れなかった。何が売れたかカメラ付携帯、写して画像を送れる（写メ）ということが商売になった。画像、動画も使って講演されました。1億かけて1億の効果を出すのではなく、4・5万で1億の効果を出す時代です。発想がだいじだと教えて頂きました。パネリストとして新潟大学の教授、テレビ21の社長、弁護士、三越伊勢丹の社長、イタリア軒の社長、日銀の支店長、皆さん新潟RCの会員だそうです。懇親会は古町の芸子さんがいました。二次会は最上階のラウンジで中央にグランドピアノがあり、浅間さんがピアノを弾いてくれました。和気藹々と過ごしました。



2日目の発表は、グループ毎にやりましたが、今の若者は笑いを取り入れて上手にやると思いました。帰ってからどっと疲れが出ましたが、そのくらい真面目に2日間やってきました。来年の委員長をやられる方は、是非楽しみして頂きたいと思えます。

11月のお祝

誕生日		ご夫人		結婚記念日	
会	員				
小林	幹扶 10	佐藤	ミチ子 9	柄沢	憲司・佑子 3
石黒	隆夫 13	落合	千鶴子 16	小林	幹扶・明美 3
佐藤	義英 18			金子	太一郎・節子 3
坂内	康男 18			青木	省一・征子 5
丸山	勝 26			丸山	正男・夏子 11
岡田	大介 27			今井	克義・房子 14
小林	進 27			下村	啓治・宏子 14
				浅野	潤一郎・正子 15
				羽賀	一真・麻美 18
				白倉	昌夫・満江 22
				石丸	進・咲子 23